

編集・発行 猪名川町役場町長公室広報広聴係

〒666-0292 兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑11-1 電話番号 0727 (66) 8707 ファックス番号 0727 (67) 2255
ホームページアドレス (URL) <http://www.town.inagawa.hyogo.jp> 電子メールアドレス koho@town.inagawa.hyogo.jp

毎月1日・
15日発行



▲みなさんに愛される「ふれあいバス」を目指しています

ふれあいバスアンケート結果 1位は増便を希望

本年四月より運行している、ふれあいバスの今後の運行についての検討資料とするため、八月一日から九月十四日まで実施したアンケート調査の結果について概要をお知らせします。
このアンケートは、ふれあいバスの車内と、バスが立ち寄る公共施設に備え付け、バスを利用することがない人も含め、八十二回の回答をいただきました。
町では、今回のアンケート調査結果を参考とし、みなさんの生活利便の向上に向けて検討を進めます。

回答者の属性

回答者の属性は、男性十人(十二・七%)、女性六十七人(八十一・七%)、無回答五人(六・一%)で、年齢別に見ると六十一歳以上の人が三七・八%を占めています(グラフ1)。

また、回答者のうち、バスを「利用したことがある人」が七十一%、「利用したことがない人」が二十四%でした(他に無回答が五%)。

利用頻度・利用施設

ふれあいバスを利用したことがある人のうち、週一〜二回程度

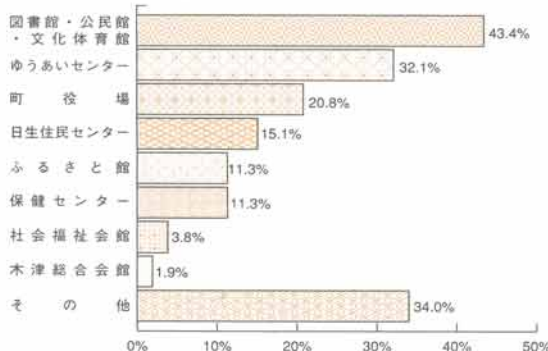
度の利用が、全体の二五・九%(グラフ2)を占め、もっと利用したいが、現段階では思うように利用できないとの回答が多くありました。

ふれあいバスで利用する施設については、無回答を除いた五十三人のうち、前回のアンケートでもよく利用する施設に挙げられていた「図書館・公民館・文化体育館」が四十三・四%の人に、「ゆああいセンター」が三十二・一%の人に利用されています(グラフ3)。

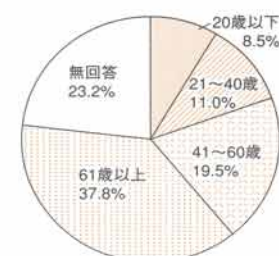
バス増車の希望

ふれあいバスが増車されれば利用するかどうかの問いに対して、過半数の五十六・一%の人が「利用する」と答えています。
また、バスが増便されれば、どのような変更を望むかについては、

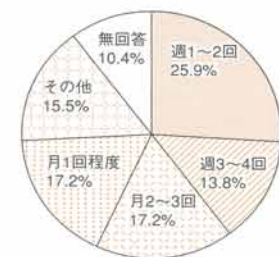
グラフ3 利用施設(複数回答)



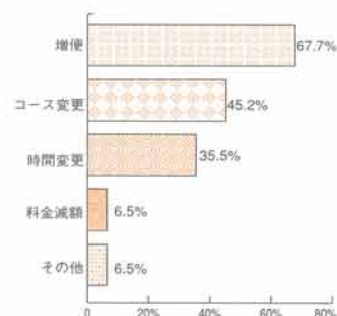
グラフ1 年齢



グラフ2 利用頻度



グラフ4 改善されれば利用する点(複数回答)



今後のバスの利用

今後の利用について、どのようなところが改善されればよいという質問には、回答のあった三十一人中、六十七・七%が「バスの増便」を望むとの答えでした(グラフ4)。

運休日

現在、月曜日を運休日としていることについて、月曜を運行し、土・日のいずれかを運休にすることにより、「賛成」が四十八・八%、

「反対」は十四・六%となっています。
自由回答欄に記入いただいた主な内容は次のとおりです。
○自宅近くから乗車でき、運賃も安いので助かる。
○運転手さんが優しく親切で、気持ちよく利用できる。
○目的地まで時間がかかるので、なかなか利用できない。
○公共施設の利用は行き帰りともふれあいバスを利用できるよう増便してほしい。
○利用したい時間と運行時間が合わないで、増便などの工夫をしてほしい。
問い合わせは、企画推進室(☎六六・八七二)へ。

製造事業所のみなさんへ

工業統計調査・石油等消費構造統計調査に協力を

通商産業省、兵庫県、猪名川町では、工業統計調査と石油等消費構造統計調査を十二月三十一日現在で実施します。
工業統計調査は、工業の実態を明らかにし、諸産業の基礎資料を得るため、県下の製造業を営む事業所を対象に、従業者数、製造品出荷額などを調査します。また、石油等消費構造統計調査は、わが国の産業エネルギー消費の実態を明らかにするために実施します。
本年十二月から来年一月にかけて、調査員が事業所を訪問して「調査票」の記入をお願いしますので、ご協力ください。みなさんから提出していただく調査票については、統計法に基づき、調査内容の秘密は厳守されますので、正確な記入をお願いします。
問い合わせは、産業課(☎六六・八七〇)または、県企画管理部署(☎六六・八七二)へ。
問い合わせは、社会教育課(☎六六・七二六)へ。

成人式に出席を

二十一世紀最初の成人式をすばらしいものにしましょう。新成人の出席を待っています。
▽とき 平成13年1月8日(祝) 受付開始11午前9時15分
▽ところ 文化体育館
▽対象者 昭和55年4月2日〜昭和56年4月1日生まれの人
▽内容 ①式典 ②アトラクション(水田運田コンサート) ③若人の集い(音楽グループ「和製ジャズ・リズム・メロディ」演奏)

問い合わせは、社会教育課(☎六六・七二六)へ。



V1バレーボールリーグ(女子) 猪名川大会

第1試合 NTT西日本VS久光製薬鳥栖スプリングス
第2試合 茂原アルカスVSトヨタ車体

▷とき 平成13年2月10日(土) 開場=午前10時(試合開始=午後2時)

▷入場料 一般=1,000円(1,500円)、高校生以下=500円(700円)

※()内は当日券の料金、全席自由・10枚以上1割引

前売券は、健康福祉課、日生・六瀬住民センターなどでも販売しています。
問い合わせは、文化体育館(☎66-7400)へ。



猪名川町の思い出のアルバム 二十世紀の良き風情を引き継いで



▲昭和36年の隣保共同田植えの様子（小北さん提供）

「昭和36年の隣保共同田植えの様子（小北さん提供）」と題されています。この写真は、猪名川町の歴史を伝える貴重な資料の一つです。

柏原の自然の中で...
柏原にお住まいの小北利夫さん、きくみさんご夫妻に農村での暮らし、今の移り変わりを伺いました。

「昔は、米作りが主な仕事で、ほとんどが手作りで大変な重労働でした。そのため、農作業を地域の人たちと助け合い、共同で行っていました。今の若い世代に代わる頃から、どんどん機械化が進み、楽になってきましたが、一方で兼業農家が増え、減反で米作りを休む所も増えてきました。田んぼを維持するために、コスモスや...



▲柏原の小北さん夫妻

二十一世紀へのカウントダウンが始まりました。あと十七日、いよいよ新世紀です。前回から今回にかけて、二十世紀の猪名川町のあゆみをお伝えしています。

猪名川町は発達からの約半世紀で大変な発展を遂げました。今月は、農村の移り変わりや学校の発展など、新世紀に向けて継承される古き良き文化をお伝えします。

とびきり



特派員
上田 美佐子



特派員
小林 悦子

いながわ特派員 きり 報告



▲浄瑠璃を上演している大西さん

林田にお住まいの大西光男さんは、いながわまつりで、三味線に合わせて、浄瑠璃「菅原伝授手習い」の「浄瑠璃」を奏で語られていました。

昔から、猪名川町や能勢町では竹本中太夫の名が代々引き継がれ、浄瑠璃が広く伝えられてきました。大西さんは二十代竹本中太夫を襲名しています。全盛期には、お祭りの時や新築のお祝いなどの時に披露されていたそうです。

▲町の歴史や民俗、産業などの資料を展示しているふるさと館



町立ふるさと館の学芸員である藤岡真澄さんに、猪名川町の歴史について伺いました。

「猪名川町には国や県指定の重要文化財が多数あり、昔のものが古くは大切にされているところだともいます。特に木喰明満上人によって彫られた仏像が二十六体あります。見る人の心をよわらせる微笑をたたえた木喰仏は、ぜひ見ていただきたいと思っています。」

また、町の北部地域では、昔から受け継がれてきた生活様式が、現在も残っています。変化が少ないうちにも猪名川町の良さを伝えていきたいと思います。

そして、多田銀銅山があり、昔からわたりと豊かな暮らしであったと推測されます。そのため、古いものなどが現存しています。ふるさと館で、自然の宝庫である「我が町の歴史」を身近なところから感じ、見ていただければと思います。」と話されています。

地域ぐるみの教育を

町立猪名川中学校の中井重樹校長先生は、生まれも育ちも職場も猪名川町という生粋の町民です。教育現場から我が町を振り返っていただきました。



▲猪名川中学校
中井校長先生

「自分が子どもの頃と新任教師時代、そして現在と、子どもの本質は変わっていないと思います。ただ、大人の包容力が変わってきているようです。」

私が中学時代（中谷中学校）の水泳の授業は、川で行われていました。新任教師時代（昭和45年、中谷中学校）は、万壽町民プールがあり、みんなが自転車通学というのどかな時代でした。また、昔は農繁期休暇があり、日常生活に地域とのかかわりや労働がありました。最近ではそれがほとんどなくなりました。しかし、今、中学校でトライやる・ウィークという形で復活しましたので、とても良い経験ができると思います。

猪名川町には昔から、子どもたちを見守る目があり、地域の教育力の高い所だと感じています。これからも、地域のみならず、お力添えを得ながら、心の教育、生きる力を育む教育を推進して二十一世紀を担う人づくりに、微力ながら励んでいきたいと思っています。」と話されていました。



▲昭和36年の大島小学校の体育大会の様子

編集後記

二カ月にわたって猪名川町の歴史のほんの一部を振り返り、お伝えしてきました。みなさん自身の思い出と重ねていただければ幸いです。思いがけず、うれしく思います。

今年四十五歳の猪名川町は、人間に例えれば、動き盛り真只中というところでしょうか。地域や社会、家庭で基盤が固まった頃だと思っています。そういつた中で、二十一世紀のまちづくりに、着実に歩み出しています。

おもしろ川柳

今回のテーマは「ミレニアム」
ミレニアム千年生きた気持ち
カプセルに詰められたい千年後
ミレニアム大分横文字おぼえたり
和氣初子（つじが丘）

来月のテーマは「七五三」です。
応募方法は、十二月二十六日までにハガキで町長公室広報広聴係へ。